



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 康彦

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2023年11月13日

配当支払開始予定日

2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,171	1.8	5,512	32.8	5,722	33.1	4,068	31.8
2023年3月期第2四半期	36,819	2.0	8,209	9.2	8,555	7.9	5,964	11.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 5,814百万円 ( 6.4%) 2023年3月期第2四半期 6,209百万円 ( 15.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	108.18	
2023年3月期第2四半期	158.34	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	171,651	140,728	82.0
2023年3月期	166,328	136,836	81.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 140,728百万円 2023年3月期 136,258百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		75.00		75.00	150.00
2024年3月期		75.00			
2024年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,100	0.2	7,600	5.0	8,000	8.3	6,700	23.2	176.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	45,939,730 株	2023年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,069,687 株	2023年3月期	8,466,780 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	37,605,220 株	2023年3月期2Q	37,668,779 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2024年3月期2Q 28,200株、2023年3月期 33,400株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2024年3月期2Q 31,594株、2023年3月期2Q 36,633株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

国内医薬品事業におきましては、高齢化社会の進行等によって国の医療財政が逼迫する中、薬価制度の抜本改革をはじめとする様々な医療費抑制策が進められており、中間年薬価改定の実施等、当第2四半期累計期間においても引き続き厳しい事業環境にあります。

このような環境の中、当社グループは昨年度、2022年を起点とする10か年の経営計画「長期経営計画2031」を策定し、製薬業界を取り巻く厳しい状況や、それに伴う当社グループの長期的課題を分析し、2031年ビジョンとして「画期的新薬の迅速な創出・提供により健康寿命延伸に貢献し続ける企業」「皮膚科、整形外科領域を中心にグローバルに展開する創薬企業」を掲げました。また、当社グループは、ビジョン実現のための戦略として「研究開発」「海外展開」「経営基盤」の3つのTransformationを策定し、研究開発への積極的な戦略投資、高い有効性と安全性を有し世界に通用する医薬品を効率良く創出・販売できる体制の構築、挑戦と変革を追求し続ける人材の育成等を進め、経営計画達成に向けて取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は36,171百万円(対前年同期比1.8%減)であり、減収となりました。利益面では、主に販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は5,512百万円(対前年同期比32.8%減)、経常利益は5,722百万円(対前年同期比33.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,068百万円(対前年同期比31.8%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、戦略投資の結果、研究開発費が対前年同期比32.5%増加し、5,738百万円となったためであります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、2023年6月に原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の新容器として直接腋窩に薬剤を塗布できるツイストボトルを発売したほか、2023年8月に壊死組織除去剤「ネキソブリッド」を発売しました。「ネキソブリッド」は「深達性Ⅱ度又はⅢ度熱傷における壊死組織の除去」を効能・効果とする外用剤として新たな治療の選択肢を提供するものであり、患者さんのクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献するため、熱傷専門医を中心に情報提供活動を進めております。また、2023年9月には韓国において、原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」の販売承認申請が、提携先であるドンファ社により提出されました。当社はドンファ社に対して、韓国における本剤の独占的な開発及び販売の権利を供与しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①薬業

医薬品・医療機器につきましては、原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」や関節機能改善剤「アルツ」等の売上が増加した一方、競合品や薬価改定の影響等を受け、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」や爪白癬治療剤「クレナフィン」等の売上が減少したことにより、減収となりました。

農業薬品につきましては、微生物由来の天然物質農薬である「ポリオキシシン」等の売上増加により増収となりました。

この結果、売上高は34,958百万円(対前年同期比1.8%減)、セグメント利益(営業利益)は4,851百万円(対前年同期比36.1%減)となりました。

なお、海外売上高は2,750百万円(対前年同期比18.7%減)となりました。

#### ②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は1,212百万円(対前年同期比0.6%減)、セグメント利益(営業利益)は661百万円(対前年同期比7.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は171,651百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,322百万円の増加となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

負債は30,922百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,430百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

また、純資産は140,728百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,892百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

自己資本比率は、82.0%(前連結会計年度末81.9%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4,199百万円減少し、70,060百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、245百万円の支出となりました。これは主に、売上債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,141百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、2,813百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高は、薬価改定の影響はあるものの、「アルツ」や「エクロック」等が伸長することから、全体としては増収を見込んでおります。利益につきましては、販売費及び一般管理費が増加しますが、前期発生しました特別損失の反動等により増益となる予定であります。売上高は73,100百万円、営業利益は7,600百万円、経常利益は8,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は6,700百万円を見込んでおります。2023年5月10日に公表した業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,561	55,361
受取手形、売掛金及び契約資産	19,268	23,998
有価証券	14,699	14,699
商品及び製品	6,734	7,719
仕掛品	2,481	2,973
原材料及び貯蔵品	6,348	7,165
その他	809	827
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	109,903	112,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,433	16,067
その他（純額）	9,064	8,912
有形固定資産合計	25,498	24,979
無形固定資産		
仕掛研究開発	5,800	5,800
その他	941	1,738
無形固定資産合計	6,741	7,538
投資その他の資産		
投資有価証券	17,511	20,025
その他	6,674	6,362
投資その他の資産合計	24,185	26,387
固定資産合計	56,425	58,906
資産合計	166,328	171,651

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,130	8,113
電子記録債務	89	140
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	2,004	1,929
賞与引当金	942	877
その他	7,822	7,247
流動負債合計	20,838	22,160
固定負債		
株式給付引当金	117	85
退職給付に係る負債	6,349	6,349
繰延税金負債	1,771	1,771
その他	414	556
固定負債合計	8,653	8,762
負債合計	29,491	30,922
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,462
利益剰余金	126,135	127,390
自己株式	△30,026	△28,612
株主資本合計	131,368	134,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,724	6,472
退職給付に係る調整累計額	165	162
その他の包括利益累計額合計	4,889	6,635
非支配株主持分	578	—
純資産合計	136,836	140,728
負債純資産合計	166,328	171,651

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	36,819	36,171
売上原価	16,432	16,450
売上総利益	20,387	19,720
販売費及び一般管理費		
給料	2,815	2,821
賞与及び賞与引当金繰入額	606	553
退職給付費用	170	136
研究開発費	4,330	5,738
その他	4,255	4,957
販売費及び一般管理費合計	12,178	14,207
営業利益	8,209	5,512
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	233	251
補助金収入	76	—
その他	45	22
営業外収益合計	358	277
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	—	54
その他	3	5
営業外費用合計	12	67
経常利益	8,555	5,722
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	1	4
特別利益合計	4	5
特別損失		
固定資産除却損	25	69
減損損失	304	—
その他	—	0
特別損失合計	330	69
税金等調整前四半期純利益	8,229	5,658
法人税等	2,265	1,590
四半期純利益	5,964	4,068
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,964	4,068



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	5,964	4,068
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	1,748
退職給付に係る調整額	31	△2
その他の包括利益合計	245	1,745
四半期包括利益	6,209	5,814
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,209	5,814
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	8,229	5,658
減価償却費	1,233	1,291
減損損失	304	—
のれん償却額	11	117
退職給付に係る資産負債の増減額	△48	△87
受取利息及び受取配当金	△236	△255
支払利息	8	8
投資事業組合運用損益 (△は益)	—	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	△4
有形固定資産除却損	25	69
有形固定資産売却損益 (△は益)	△2	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△382	△4,870
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,175	△2,293
仕入債務の増減額 (△は減少)	821	2,034
その他	△455	△392
小計	8,332	1,278
利息及び配当金の受取額	236	255
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,133	△1,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,427	△245
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,114	△734
有形固定資産の売却による収入	2	0
無形固定資産の取得による支出	△145	△186
投資有価証券の売却による収入	5	8
その他	△158	△229
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,410	△1,141
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1,339	0
配当金の支払額	△2,835	△2,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,174	△2,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	842	△4,199
現金及び現金同等物の期首残高	74,625	74,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	75,467	70,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、2023年7月7日付で自己株式を392,289株、1,443百万円処分いたしました。

自己株式の処分は、2021年11月30日付で公表したARTham Therapeutics 株式会社(以下、「アーサム株」という。)買収において締結した株式譲渡契約に基づき、難治性脈管奇形治療剤「KP-001(従来の開発コード:ART-001)」に関するマイルストーン達成の条件付対価として払込んだものであります。

なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は8,069,687株、28,612百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	34,649	—	34,649	—	34,649
製品の販売等に関する ライセンス契約	951	—	951	—	951
顧客との契約から生じる 収益	35,600	—	35,600	—	35,600
その他の収益	—	1,219	1,219	—	1,219
外部顧客への売上高	35,600	1,219	36,819	—	36,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,600	1,219	36,819	—	36,819
セグメント利益(営業利益)	7,592	616	8,209	—	8,209

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては304百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	34,192	—	34,192	—	34,192
製品の販売等に関する ライセンス契約	765	—	765	—	765
顧客との契約から生じる 収益	34,958	—	34,958	—	34,958
その他の収益	—	1,212	1,212	—	1,212
外部顧客への売上高	34,958	1,212	36,171	—	36,171
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,958	1,212	36,171	—	36,171
セグメント利益(営業利益)	4,851	661	5,512	—	5,512

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結会計期間において、2021年11月30日付で公表したアーサム(株)買収において締結した株式譲渡契約に基づき、2023年7月7日付で、難治性脈管奇形治療剤「KP-001(従来の開発コード: ART-001)」に関するマイルストーン達成による条件付対価を払い込んでおります。これに伴い、「薬業」セグメントにおいて、のれんが864百万円増加しております。

なお、当該のれんについては、2021年12月13日付アーサム(株)取得時に発生したとみなし、当第2四半期連結累計期間において追加的に償却しております。